**様式第14号(様式第11号の添付資料)**

化学肥料低減実施報告書（令和４年秋肥）

作付概要

|  |  |
| --- | --- |
| 作物名 | 取組面積（ha） |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 計 |  |

氏名(法人・組織名)

住所

電話番号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　―

**１．実施する実施する（してきた）取組メニューに「○」を付してください。**

**２．「今後の取組」には、実施する取組メニューが２つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、**

**従来の取組の強化・拡大（「◎」で記入）を含むようにしてください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 取組メニュー | 令和４年度又は  令和５年度の取組 | 今後の取組 |
| ア　土壌診断による施肥設計 |  |  |
| イ　生育診断による施肥設計 |  |  |
| ウ　地域の低投入型の施肥設計の導入 |  |  |
| エ　堆肥の利用 |  |  |
| オ　汚泥肥料の利用（下水汚泥等） |  |  |
| カ　食品残渣など国内資源の利用（エとオ以外） |  |  |
| キ　有機質肥料（指定混合肥料等を含む。）の利用 |  |  |
| ク　緑肥作物の利用 |  |  |
| ケ　肥料施用量の少ない品種の利用 |  |  |
| コ　低成分肥料（単肥配合を含む。）の利用 |  |  |
| サ　可変施肥機の利用（ドローンの活用等を含む。） |  |  |
| シ　局所施肥（側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等）の利用 |  |  |
| ス　育苗箱（ポット苗）施肥の利用 |  |  |
| セ　化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～スに係るものを除く。） |  |  |
| ソ　地域特認技術の利用 （　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |
| 総取組面積 | ha | ha |

**様式第14号(様式第11号の添付資料)**

化学肥料低減実施報告書（令和４年秋肥漏れ）

作付概要

|  |  |
| --- | --- |
| 作物名 | 取組面積（ha） |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 計 |  |

氏名(法人・組織名)

住所

電話番号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　―

**１．実施する実施する（してきた）取組メニューに「○」を付してください。**

**２．「今後の取組」には、実施する取組メニューが２つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、**

**従来の取組の強化・拡大（「◎」で記入）を含むようにしてください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 取組メニュー | 令和４年度又は  令和５年度の取組 | 今後の取組 |
| ア　土壌診断による施肥設計 |  |  |
| イ　生育診断による施肥設計 |  |  |
| ウ　地域の低投入型の施肥設計の導入 |  |  |
| エ　堆肥の利用 |  |  |
| オ　汚泥肥料の利用（下水汚泥等） |  |  |
| カ　食品残渣など国内資源の利用（エとオ以外） |  |  |
| キ　有機質肥料（指定混合肥料等を含む。）の利用 |  |  |
| ク　緑肥作物の利用 |  |  |
| ケ　肥料施用量の少ない品種の利用 |  |  |
| コ　低成分肥料（単肥配合を含む。）の利用 |  |  |
| サ　可変施肥機の利用（ドローンの活用等を含む。） |  |  |
| シ　局所施肥（側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等）の利用 |  |  |
| ス　育苗箱（ポット苗）施肥の利用 |  |  |
| セ　化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～スに係るものを除く。） |  |  |
| ソ　地域特認技術の利用 （　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |
| 総取組面積 | ha | ha |

**様式第14号(様式第11号の添付資料)**

化学肥料低減実施報告書（令和５年春肥）

作付概要

|  |  |
| --- | --- |
| 作物名 | 取組面積（ha） |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 計 |  |

氏名(法人・組織名)

住所

電話番号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　―

**１．実施する実施する（してきた）取組メニューに「○」を付してください。**

**２．「今後の取組」には、実施する取組メニューが２つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、**

**従来の取組の強化・拡大（「◎」で記入）を含むようにしてください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 取組メニュー | 令和４年度又は  令和５年度の取組 | 今後の取組 |
| ア　土壌診断による施肥設計 |  |  |
| イ　生育診断による施肥設計 |  |  |
| ウ　地域の低投入型の施肥設計の導入 |  |  |
| エ　堆肥の利用 |  |  |
| オ　汚泥肥料の利用（下水汚泥等） |  |  |
| カ　食品残渣など国内資源の利用（エとオ以外） |  |  |
| キ　有機質肥料（指定混合肥料等を含む。）の利用 |  |  |
| ク　緑肥作物の利用 |  |  |
| ケ　肥料施用量の少ない品種の利用 |  |  |
| コ　低成分肥料（単肥配合を含む。）の利用 |  |  |
| サ　可変施肥機の利用（ドローンの活用等を含む。） |  |  |
| シ　局所施肥（側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等）の利用 |  |  |
| ス　育苗箱（ポット苗）施肥の利用 |  |  |
| セ　化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～スに係るものを除く。） |  |  |
| ソ　地域特認技術の利用 （　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |
| 総取組面積 | ha | ha |